

第2回 市場小学校第二方面校開校準備部会会議録	
日 時	平成28年3月8日(火) 19時～20時30分
開 催 場 所	市場小学校 図工室
出 席 者 (23名)	佐藤部会長、武藤副部会長、畑委員、森田委員、大伴委員、神藏委員、岸委員、村田委員、丸山委員、佐野委員、谷委員、藪田委員、上遠野委員、菅野委員、横田委員、貴志委員、秋本委員、益子委員、川端委員、渡辺委員、室井委員、益田委員、青木委員
欠 席 者 (0名)	
開 催 形 態	公開(傍聴者4人)
議 題	1 通学区域案等について
決 定 事 項	1 事務局から提示された、市場小学校第二方面校の通学区域案及び分校案の評価と課題等について、各所属団体に持ち帰り、意見を伺うこととする。 2 次回の部会については、事務局にて実施する「学識経験者へのヒアリング」、「他自治体への分校事例調査」、「関係機関への協議・確認」の内容と各所属団体の意見をもとに議論する。
議 事	<p>1 通学区域案等について</p> <p>(事務局)：市場小学校第二方面校の通学区域案及び分校案の評価と課題等について説明。</p> <p>(委員)：第1回部会以降、2月にパークスホール、3月にゆうづるで0才～1才のお子さんをもつ保護者を対象に、昨年市場小学校で行われた説明会の内容について説明を行った。分校であれば嬉しいという方が多かったが、「地下道の整備なくしては考えられない。」「第二方面校は通学距離が少し遠くなるので、集団登校にしたほうがいいのかもかもしれない、またその時の保護者の負担はどうなるのか。」「2校になる場合は学校名はどうなるのか。」、このような意見が聞かれた。</p> <p>(委員)：分校にしてもらったほうが、どこの地域からも同じようにそれぞれの校舎に通うということで、痛みわけのほうがいいのかというのが、私の所属する地区の意見だ。分校については、前回の部会では校長の負担や教員数の課題等あると聞いていたので、できるかどうか心配だったが、今日の説明を聞いて安心した。</p> <p>(事務局)：教育委員会としては、ニュートラルな状態でそれぞれの案を検討し、一番重視している子どもの教育環境にとってどうなのか、その部分についてどういうやり方をとるのが一番いいのかを考え、どのようにしてもできないということであれば、申し訳ないができないと判断させていただく。その検討にあたっては、教</p>

育委員会内部だけで考えるのではなく、学識経験者や実際に分校として運営している地域にどのようなかたちで運営しているのか、そこでは課題があるのかなのか、あったとした場合にはどのような工夫をしているのか、それが横浜市でもできるのかどうか、そういったところを確認していきたいと考えている。

(委 員) : 通学距離が第二方面校のほうが更に遠くなることも踏まえ、お互いに今のような状態で平均的に分けていくことが一番よく、その中で、学年でうまく分けられればいい。成長過程により学年で分けるとしても課題はあると思うが、どこの町も今は市場小学校に通っているわけなので、同じようにどこの町も一部は第二方面校に行くことでうまくいくのであれば、それで地域の皆さんは納得できるのではないだろうか。

(委 員) : 実際に第二方面校の開校期間に通うことになるお子さんやその保護者は、どの案がいいか選べない。部会委員が決めていくことになるので、これは相当重要な会議だ。自分が通った学校は10年で閉校してしまうが、道路一本挟んだ向こう側に住んでいる人は140年以上の伝統のある学校を卒業したということは、大人になってもショックだと思う。そのため、分校にして、市場小学校を卒業したとみんなが言えるのがいい。

(委 員) : P T Aでは、第1回部会の後に、P T Aにある7つの委員会の委員に、通学区域で分けるのか、分校にするのか、他に何かいい案はないのか話し合ってもらった。合計100人以上の委員の意見では、まずは、子どもたちの安全を確保して欲しい。通学安全については、地下道の整備も含め何とかして欲しい。それから、今市場小学校に通わせている保護者の心情としては、このまま市場小学校を卒業させたい、できれば分けたくない、住んでいるところで不公平感のないようにするのがいいのではないかと、という意見が多かった。一方で、1校体制でいくのと、2つ学校ができるというところでは教員の配置数も違い、デメリットもあるという話をしたところ、第2回の部会で詳しい数字も示されるので、それも踏まえて話し合おうということになった。今日の説明で、更に教員数だけでなく課題も提示していただいたので、次回以降報告のある学識経験者の意見や実際に大規模校を分校で運営している事例の良い面・悪い面を挙げていただいたところで、保護者の皆さんにアンケートを取りたいと思う。今回、意見を聞いたのは小学生の保護者なので、未就学児の保護者や地域の方に更に広げていただけるよう、子ども育成会の方々が検討してくださっているところだ。

	<p>(委 員) : 分校案を採用した方が、地域としてはまとまっていくだろうと思っている。しかし、運動会や入学式、卒業式をどこで一緒にやるのか、どうしても一緒にできないとか、そういった課題が出てくる可能性がある。</p> <p>(委 員) : 運動会に関しては、29年度も市場小でやれないことはないと思っているが、その先を見越した時のことを考えると、29年度からは市場小ではない場所で実施してみるということを経験しておかないと、対応できなくなる可能性がある。卒業式については、現在5年生が送る側、6年生が送られる側として、式に出席している。人数が増えたからと言って、6年生だけ出席して卒業証書をもらうだけでは、教育的には望ましくない。市場小からは少し離れ、保護者の負担にはなるかもしれないが、どこか大きな場所でできないかどうか考える必要がある。職員については、やりがいを感じている職員は多く、本当に地域のニーズがあって応援してくれるということであれば、できないことではないと思っている。ただ、いろいろなところで地域に協力していただいたり、負担していただく部分はでてくるのかと思っている。</p> <p>(委 員) : 地域として応援がほしいということであれば、地域で割るのではなく、学年で割って分校にした方が良いが、教育的な課題については、しっかり出してもらって、そこで地域としてどう関わっていけるか考えて、決めていけたらと思っている。</p> <p>(副部会長) : 通学安全面で地下道の話があったが、区の土木事務所が管理している。そこを拡幅しようとするとう莫大な予算がかかるため、難しいと聞いた。</p> <p>(委 員) : 小学校の校舎は、何階建てまででないといけないといった決まりはあるのか。</p> <p>(事 務 局) : 文科省が示している標準的なものは3階建てだが、横浜市では4階建ての校舎もある。児童や教員の負担も考えた上で、敷地面積と必要な施設を踏まえて決めていくことになる。現段階では、第二方面校は4階建てを想定している。</p> <p>(委 員) : 部会の最初に提示されたスケジュールでは、5月頃には、1校でいくか2校でいくか決めてくださいとなっていたが、それは難しいと思う。</p> <p>(事 務 局) : 最初に示したスケジュールはあくまでも参考となるので、話合いの結果、延びることはかまわない。ただ、あまり長く続けていると、住民の方々も不安に思うところもあると思うので、そういったことも踏まえて検討していただければと考えている。</p>
--	--

	<p>(委 員) : 今回配付された資料にある通学区域案と分校案の評価と課題の観点で我々も考えていかなければならない。行事の関係など、カテゴリーとして足りないものもあるのではないかな。</p> <p>(部 会 長) : ここにある評価と課題以外にもきっとまだ出てくると思うので、次回までに各地域の意見を集めて来てもらえると、より内容のあるものになると思っている。</p> <p>(事 務 局) : 指導・教育面の評価と課題については、事務局にも教員出身の職員がいるので、考えることができる。ただ、地域・保護者の面については、委員のみなさまがよくご存じのこともあり、事務局も見落としているものがあると思うので、こういった課題もある、その課題についてはどのように対応していくのがいいというご意見があれば、ぜひお願いしたい。そういった意味でも、資料に挙げた評価と課題はこの表は完成したものではなく、あくまでも今日時点のものであるということをご承知おきいただきたい。</p> <p>(委 員) : 5・6年または3・4年分校案だと、いない学年がでてきてしまう。本校には全学年がいられるように、1年生と6年生は全員が本校にいて、2～5年生は半分を本校、半分を分校とすれば、本校は全学年が揃って、分校には2～5年生の半分がいるという案を考えたがどうか。</p> <p>(副部会長) : 校長や教員の負担感を考えると難しいのではないかな。あちらこちらで課題が生じた場合に対応できなくなる。</p> <p>(委 員) : 事務局の想定通学区域案では、元宮の地域が分かれてしまう。地域で活動をしていく中で、地域の中で通学区域を分けてしまうと、どうにもならないので、分校案を検討したいと思っている。</p> <p>(委 員) : 市場小学校を卒業した児童は市場中に進学してくる。そこに平安小の児童も入ると、いずれ市場中の生徒は1,000人を超え、今の校舎規模では受入れることができなくなり、今後対策の検討は必要になる。今までの議論を聞いていて、議論の視点としては、「子どもたちが良い環境で教育を受けられる」ということ。この視点がずれ、大人の都合だけで議論してしまうのはよくないと感じた。そういった中で地域としての意見も伺ったと思っている。</p> <p>(部 会 長) : 市場中は、増築のスペースはあるのか。</p> <p>(事 務 局) : 今後、生徒数が増えていくため、将来的には増築が必要になる。今の敷地面積の中で、増築できるのではないかと考えている。</p> <p>(部 会 長) : それでは、事務局から提示のあった通学区域案及び分校案の評価と課題等について、各所属団体に持ち帰って、次回部会まで</p>
--	--

	に意見や要望の取りまとめをお願いします。
資 料 ・ 特 記 事 項	<p>1 資料</p> <p>(1) 次第</p> <p>(2) 委員名簿</p> <p>(3) 席次表</p> <p>(4) 市場小学校第二方面校開校準備部会ニュース第1号</p> <p>(5) 通学区域案等について</p> <p>2 特記事項</p> <p>次回は、5月26日(木)19時から公開により開催予定。開催場所は、市場小学校。ニュースの配付については、関係地域への全戸配付を引続き実施。</p>